

## 事業の概要

### ①ラムサール登録湿地涸沼の魅力発信 ハゼ釣り体験 9月、10月

ラムサール登録湿地涸沼は、登録10周年を迎えました。逆川こどもエコクラブでは、2023年から涸沼がラムサール登録していく準備期間から環境学習会等を実施し、茨城町、銚田市と協働してきました。ラムサールネイチャーガイド講座を受講して登録されたガイド138人の半分は当クラブのサポーターと中学生以上のメンバーです。2024年11月に水鳥・湿地センターがオープンしたこともあり、ようやく、涸沼の環境活動の拠点が整備されました。そこで、ワイズユースを推進していくため、水辺にふれあいながらハゼ釣りを体験していく学習会を実施していきます。これまで行ってきた学習会の用具や釣り具、網等について助成を活用させていただきたく存じます。

#### 過年度の活動写真



### ②霞ヶ浦の外来種を減らすフィッシング体験と自然体験 9月・10月

霞ヶ浦で繁殖しているアメリカナマズ等の外来魚について学び、釣りやワナなどによる採取道具を使い楽しみながら除去する活動を行います。10月には、クラブ宿泊学習を行い、釣れた外来魚を調理して食べる学習を実施します。同時に、ワカサギやシラウオなどの水産資源となっている小魚が採れなくなってしまう現状を認識するための講座を実施し、在来種を守っていくため何をすべきか?についてディスカッションをしていきます。

### ③千波湖でビオトープ造成及び生物多様性学習体験

10月

市民の憩いの場である千波湖では、毎年ビオトープ造成活動と生きもの観察会など多数行っています。ビオトープは2011年から毎年、湖岸約30mの区間を湿地にして水質浄化と生物多様性を進めてきました。本年度も千波湖でビオトープを増やし、生き物観察会、外来種捕獲活動等を行っていきます。助成を有効活用し、環境が更に向上していくためのアクションを実施します。